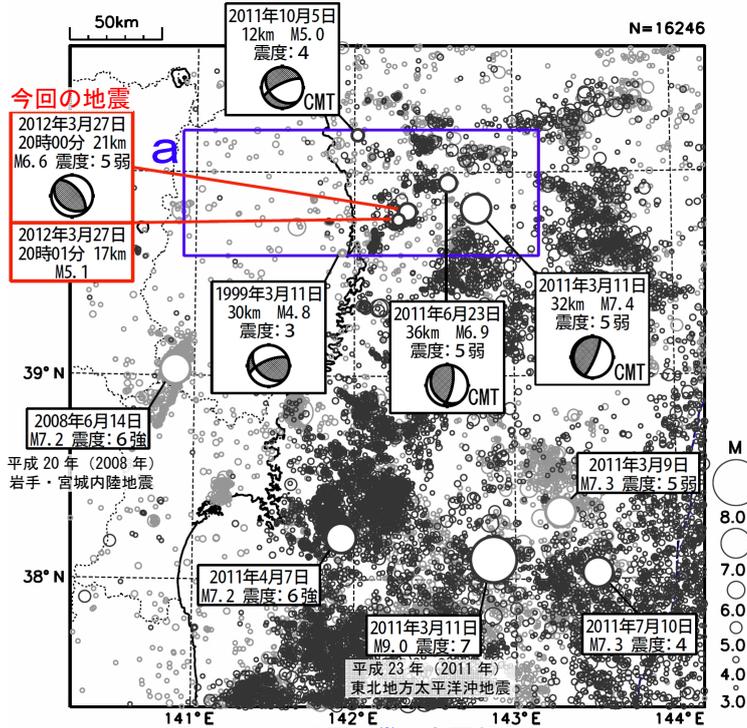


3月27日 岩手県沖の地震

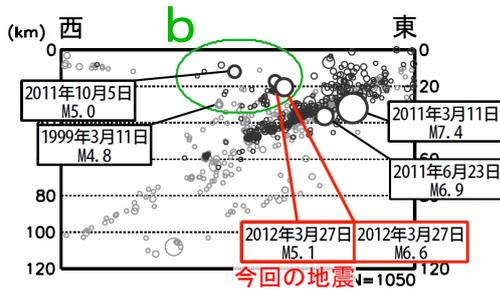
震央分布図*

(1997年10月1日~2012年3月31日、深さ0~120km、M \geq 3.0)

東北地方太平洋沖地震以降を濃く表示



領域 a 内の断面図* (東西投影)



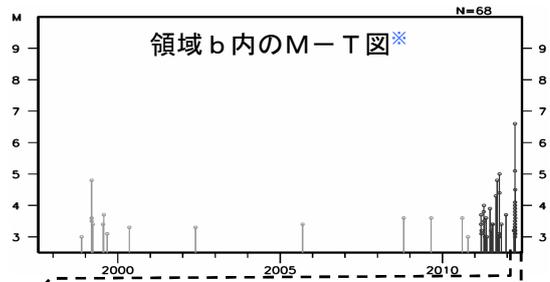
沿岸部の陸のプレート内で活発化した地震活動の例

2012年3月27日20時00分に岩手県沖の深さ21kmでM6.6の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震の発生後、同日20時01分に深さ17kmでM5.1の地震が発生するなど、一時活発な余震活動が見られた。

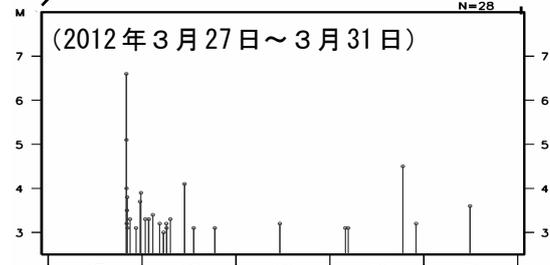
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域b)では、もともとM4.0以上の地震はほとんど発生していなかったが、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生後、地震活動がやや活発化していた。

今回の地震が発生したような沿岸部の陸のプレート内で東北地方太平洋沖地震発生後に地震活動が活発化する例は、福島県沖から茨城県沖にかけて(領域d)でも見られる。

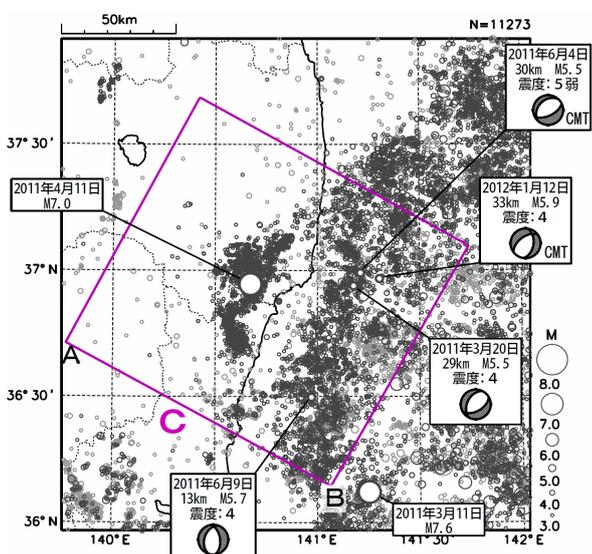
領域 b 内の M-T 図*



(2012年3月27日~3月31日)

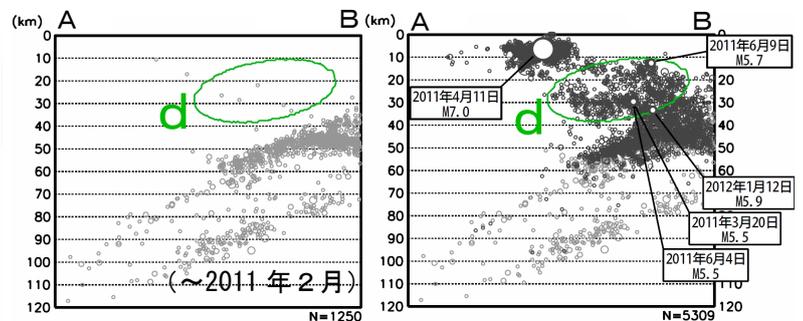


福島県から茨城県沖の沿岸部の震央分布図* (期間等は上の震央分布図と同じ)



* 2011年3月13日~5月30日に未処理のデータがある。

領域 c 内の断面図* (A-B投影)



領域 d 内の M-T 図*

